

令和4年度学校経営計画

1 学校教育目標

- ・ 自主・自律の精神を養う。
- ・ たくましい心身と実践力を養う。
- ・ 豊かな情操と創造性を養う。

2 学校の特徴

(1) 英語コースを核とした進学校

本校は、県内唯一の英語コースを有する普通科単独校であり、英語セミナー、英語スピーチコンテスト、英国語学研修などの語学教育、国際理解教育に積極的に取り組んでいる。その成果として、1年生の70%が実用英語検定準2級を、英語コースの3年生の81%が2級を、4人が準1級を取得していることや英語プレゼンテーションコンテスト等で毎年優秀な成績を収めていることなどが挙げられる。

3年前に33回目を迎えた英国語学研修は、2週間ホームステイをしながら現地の語学学校に通い、また現地の高校や大学を訪れ語学力の向上と異文化理解の深化を図るもので、他校にはないものである。ここ2年のコロナ禍では代替として、ニュージーランドやブリティッシュヒルズとのオンライン研修を行った。

本校では、ほとんどの生徒が大学等の上級学校への進学を希望し、ゆとりのある校舎や広いグラウンド等恵まれた施設・設備において、まじめに学習に取り組んでいる。近年は、国公立大学の合格率が約60%と県内でも実績をあげ、「英語コースを核とした進学校」として評価され、多くの期待を担っている。

(2) 地域に信頼される学校

英語コースの生徒が、地元の小学校で英語の授業をサポートしたり、地域主催の小学生英語教室で教えたりするなど、英語を通して地域との交流を図っている。また、情操教育、ボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、地域の芸術文化に係わる行事に参加するとともに、学校行事等を通して幼稚園児やお年寄りの方々との異世代交流も実施するなど、地域から信頼される学校となっている。また、部活動にも熱心に取り組む、文武両道の精神を実践している。

3 学校の現状と課題

(1) 英語教育のさらなる充実

英語教育では、文部科学省より平成16～18年度にSELHiの指定を受け、スピーキング・ライティング・リスニング・リーディング・語彙力などすべての観点で生徒の能力を飛躍的に向上させるなど優れた成果を収めた。令和元年度と2年度は「とやまのグローバル人材育成促進事業」、令和3年度は「英語・グローバル教育充実事業」の拠点校に指定され、開校以来蓄積されてきた英語指導のノウハウを検証した。今後はさらにICTの活用など時代に即応した指導法も取り入れ、引き続きその取組をさらに充実・改善していくことが課題である。

(2) グローバル人材の育成

生徒の学習・進学への満足度は良好であるが、国際社会で活躍するグローバル人材の育成のために、生徒が自ら考え行動して未来を切り開いていく強さと自信を培うよう、教科横断的な学びや時代に即した教育プログラムを一層充実するとともに、教員の指導力をさらに向上することが課題である。

(3) 魅力ある学校づくり

小規模校ではあるが、積み上げてきた実績を継承・発展させて魅力ある学校づくりに努め、「英語コースを核とする進学校」「地域から信頼される学校」について再考するとともに、生徒が文武両道を実践し「福岡高校に来てよかった」という思いを一層強くする学校としていくことが課題である。